

## 学内LANによる MEDLINE提供サービス開始

図書館では、附属図書館短・中期整備計画の中で、情報発信基地として学術情報提供サービスの強化を図ることを計画しています。その一環としてCD-ROMサーバシステムを導入し、各研究室の端末から学内LANを通じてCD-ROMが検索できるような準備を進めてきました。今回、サービスを実施できる環境が整い、五月十五日よりMEDLINE(医学関連情報データベース)の提供サービスを開始しました。二十四時間フルタイムで提供いたします。研究室等から自由に検索できますのでぜひご利用ください。

詳細は三十七ページをご覧ください。

## 西村教授 学生部長に再選

平成八年六月十五日で任期切れとなる学生部長に、現学生部長の西村清巳教育学部教授の再選が決まった。任期は平成十年六月十五日まで。

## 今年も「ゆかた祭り」開催

来る七月六日(土)午後三時より九時まで「ゆかた祭り」が行われる。総合科学部スベイン広場を中心にバザーやゆかたショーなどの企画が予定されている。主催は第四十五回大学祭実行委員会。

## 工学部佐伯教授、松本助手、山下教授・金田助教学会賞など受賞

五月十五日、工学部の佐伯正美(さえき・まさみ)教授が「現在でも広く利用されるPID制御器の設計をロバスト制御の新しい観点から見直し、すべての解を与えるパラメータ空間法を提案した」として、システム制御情報学会賞論文賞を受賞。また同日、同じく工学部の松本一弘(まつもと・かずひろ)助手が「電子論、合金化学を基本としたニッケル基単結晶超耐熱合金、ニッケル・アルミニドの理論設計と開発を通じ、多成分系先端高温材料の合金設計に関して新たな方法論を提示した」として、本多記念研究奨励賞を受賞。

六月五日にも、工学部の山下英生(やました・ひでお)教授・金田和文(かねだ・かずふみ)助教授が論文「天空光照射度の基底関数表現を用いた屋外環境下における高速レンダリング手法」で新たに提案した手法が、コンピュータグラフィックスを用いた照明シミュレーションに関する研究に貢献したとして画像電子学会論文賞を受賞した。

## 本年度の文部省科研費、 広大関係分についての訂正

平成八年度の文部省科学研究費補助金の交付決定状況については、前号(二十八期一号)に掲載したが、五月十一日付けで省令改正が行われたため、本学の部局等別の申請件数、採択件数、交付金額が改めて表のとおりとなった。

(資料提供 庶務課研究協力係)

## 報道された広大

- # 三月 「もんじゅ」温度計設置方法変更を―菊地義弘(きくちよしのぶ)工学部教授(日経、3・30)
- # 五月 増える広大生の参観、東広島市の市民イベント、地域との連携求め(中国、5・15)
- # 五期目の折り返し、讃岐東広島市長に聞く、高校新設早期に実現、広島大付属学校の一部の東広島市への移転を原田康夫(くわのらやすとむ)学長に要望(中国、5・16)
- # 冊子でサークル紹介、学園都市づくり交流会―広島大交響楽団、広大アメリカンフットボール部など(読売、5・17)
- # 芸術録「歌とピラート」―広島大学長 原田康夫(山陽、5・17)
- # 環境に優しいお店紹介します、広大サークル

- # 面白い物ガイド、新入生や市民に配布―広島大「アゴラ企画室」(中国、5・18)
- # 人口11万人を突破、東広島市の市民登録者、広島大生など学生の増加(中国、5・18)
- # 乳幼児と保護者に歯の磨き方を指導―広島大歯学部付属病院小児歯科(中国、5・19)
- # 宇喜多氏興隆究明のカギ握る、岡山県地域の戦国時代史研究から―広島大文学部教授 岸田裕之(山陽、5・20)
- # 身近な医療を広大生が発表―医学部の六年生を中心に、学生四百人が学習した成果をパネル展示(中国、5・22)
- # 史跡や自然に肌でふれよう、西城で探訪会―広島大安藤久次名誉教授(植物学)、文学部河瀬正利(たけし)助教授(考古学)の講演(中国、5・22)
- # 広島大で実験見学や講義受講、フィリピン研修団―広島大教育学部武村重信(たけむらしげのぶ)教授、秋山幹雄(あきまみづお)教授から説明、教育学部や理学部の授業を

(平成8年5月11日)

部	局	申請件数	採択件数	交付金額(千円)
総合科学部		185	67	127,800
文学部		45	26	35,100
教育学部		79	37	52,600
学校教育学部		46	12	15,800
法学部		21	7	10,500
経済学部		9	4	6,100
理学部		279	108	378,000
医学部		216	79	238,100
医学部附属病院		89	23	33,800
歯学部		126	56	108,700
歯学部附属病院		49	19	43,400
工学部		352	125	298,700
生物生産学部		67	27	42,900
大学院国際協力研究科		20	12	21,200
原爆放射能医学研究所		67	30	83,200
大学教育研究センター		10	6	14,900
総合情報処理センター		5	1	900
遺伝子実験施設		3	1	600
低温センター		1	0	0
留学生センター		2	1	900
機器分析センター		2	1	1,500
アイソトープ総合センター		2	0	0
地域共同研究センター		2	1	500
ナノデバイス・システム研究センター		6	3	4,500
放射光科学研究センター		1	0	0
保健管理センター		2	0	0
平和科学研究センター		4	2	3,100
計		1,690	648	1,522,800

見学(読売、5・23)

#芸備録Ⅱ歌と呼吸法―広島大学長 原田康夫(山陽、5・24)

#広島大学生部長西村教授を再選(中国、読売、5・25)

#医療問題理解して、広大医学生が展示発表、「がん」など10テーマ介護の説明や蘇生術指導―医学科6年恵美学さん(読売、5・25)

#ネパール トリブバン大に脳神経センター設立で合意、アンナプルナ病院設立準備委員会―ア委員会、広島大に留学するネパール人医師を中心に3年前に発足(中国、5・27)

#「ひろしままちづくり未来大学」の受講生を募集、広島市―福岡義隆 広島大総合科学部教授(中国、5・29)

#熱入る広大相撲部、部員わずか5人、西日本大会で力試し(毎日、5・29)

#官接待の実体報告、「情報公開」の問題点探る―田村和之・広島大総合科学部教授(毎日、5・29)

#産学共同研究を推進、中国地域技術懇が発足、広島大など中国地方の五国立大学の地域共同研究センターを中心に(中国、5・31)

#芸備録Ⅱ声帯のない人の歌―広島大学長 原田康夫(山陽、5・31)

#広島勢はつらつ、総理杯大学サッカーT予選組織プレーで栄冠―広島大(中国、5・31)

六月  
#高度な動物実験これでOK、広大医学部施設が完成、遺伝子操作や臓器移植―広島大医学部付属動物実験施設(中国、6・1)

#親子でむし歯予防、広大歯学部病院で教室(中国、6・1)

#スナガニ類の研究発表、村本君(広大付属高3年)に特別賞、国際学生科学技術博覧会―広島大付属高三年、村本哲哉君(読売、6・1)

#ダイエー出店決定、東広島 来秋にもオープン、広島大キャンパスそばの「下見学生街」(中国、読売、6・1)

#マグマの通り道調査、広大写真撮影や岩石採取―広島大学校教育学部地学教室

#寺岡易司教授と鈴木盛久教授ら(中国、6・2)

#愛媛・伊方原発沖に活断層、2000年周期で大地震 東大地震研究所、高知大、広島大の共同調査(読売、6・3)

#西日本学生相撲・2部団体予選、広大健闘5位に(毎日、6・5)

#がぶ飲みできるビール根拠あり、胃に残らず排尿も速く京大・広大実証―広島大医学部(中国、6・5)

#広島大 地域共同研究センター完成、(読売、6・6)

#広島大が相談電話設置、いじめ問題で悩む教師や保護者支援―広島大学校教育学部付属教育実践総合センター(朝日、6・6)

#フォード・エレクトロニクス開発センター、自動車部品の拠点に、広島大との共同研究も(山陽、6・6)

#東広島市で幼児保育研修セミナー―清水凡生・広島大教育学部教授、湯地由美・広島大付属幼稚園教諭、山崎晃同幼稚園長(産経、6・7)

#窮状のネパール医療支援、広島大などが人材育成協力―広島大医学部パサント・パサントさん(産経、6・7)

#広島大地域共同研究センター、地元企業との仲介役(山陽、6・7)

#ベンチャー企業支援、産官学の仕組みづくり急務、広島大などが集結した広島中央サイエンスパーク(産経、6・8)

#産業活性化へ地域と共同研究、広島大地域共同研究センター(中国、6・8)

#学生街地下水で冷暖房、東広島市が構想―松村昌信広島大教授(読売、6・8)

#東広島市のサイエンスパーク、研究交流へ推進協設置、広島大地域共同研究センターなど(読売、6・12)

#広島情報―先端技術 産業界と研究 広大地域共同研が完成(中国、6・12)

#多選知事の相次ぐ引退表明、変化と活力望む県民感情の表れ―川崎信文・広島大教授(中国、6・14)

#住居やバイト探し困難、留学生ら訴え、広島市で支援シンポジウム―広島大留学生課木上尊子さん(中国、6・15)

#コンベンション・ホテル、東広島駅前誘致へ、広大会などに活用(中国、6・15)

#ひとこと―幼児保育研修セミナーで講演した広大教授―清水凡生(中国、6・15)

#教授選考めぐり混乱、医師反発患者も反対署名―広島大医学部(中国、6・19)

### 広大フォーラム第28期2号

編集発行 広島大学広報委員会  
(庶務部企画調査課)

住所 広島市中区東千田町1丁目1番89号

電話 (082)246-0382 (直通)

E-mail koho@ipc.hiroshima-u.ac.jp

印刷 (株)ニシキプリント

広報委員 安藤正昭(委員長・総合科学部)

成定 薫(副委員長  
大学院国際協力研究科)

越智 貢(文学部)

森 敏昭(教育学部)

若元 澄男(学校教育学部)

岡本 友子(法学部)

長尾 伸一(経済学部)

竹野 節夫(理学部)

田中 義人(医学部)

栗原 英見(歯学部)

松尾 彰(工学部)

岡本 敏一(生物生産学部)

渡邊 敦光(原爆放射能医学研究所)

吉田 二美恵(附属図書館)

西田 正(総合科学部)

中田 高(文学部)

加登 基二(総合情報処理センター)

佐伯 育郎(附属中・高等学校)

## 編集後記

あわただしい四月も終わり、新入生も大学生活に慣れたきたころに、この二号がお届けできると思います。

今号は「君はサークル活動をどう捉えるか：充実した大学生活を求めて」を特集しました。統合移転が遅れたために、これまで各サークルとも困難な状況下で活動せざるを得ませんでした。しかし二十三年かかった統合移転が完了した今、サークル活動のあるべき姿を考へることは、今後の広大生の特質を決定する極めて重要なことだと考えられます。

限られた時間で、限られたサークルにお集まりいただいたので、意見が十分汲み取られたとはいえませんが、参考にしていただければと思います。

もうすぐ夏休みです。新入生諸君、先輩たちが墮落していったのはこの時期からです。もう一度初心に戻って、自分の本当にやりたいことを探してみてください。長い夏休みは自分を見つめる良い機会です。一段とたくましくなった諸君と秋に会えるのを楽しみにしています。

(第28期広報委員会委員長 安藤正昭)